


海外感染症情報

情報源：
厚生労働省検疫所ホームページ
(<http://www.forth.go.jp>) 新着情報

発生地域	更新年月日	情報内容
—	2014年12月12日	スロベニアにおける麻しんの流行発生について ★
アフリカ	2014年12月12日	西アフリカにおけるエボラウイルス病の発生状況について：補足（更新4）
アフリカ	2014年12月11日	エボラ対応に関するロードマップ（更新25）
—	2014年12月09日	鳥インフルエンザ A（H5N1）に感染した患者の発生状況について（更新7）
—	2014年12月04日	スペインでのエボラ発生に対する終息の宣言

★【2014年12月12日更新 スロベニアにおける麻しんの流行発生について】

2014年12月9日付けの欧州疾病予防管理センター（ECDC）の情報によりますと、ECDCがRapid Risk Assessment（速報リスク評価）として公表した情報において、最近スロベニアの国際ドッグショーで麻しんが集団発生したと、さらなる流行についてのリスク評価が行われています。

スロベニアでは、麻疹ワクチン接種率が高く、国内株による麻しんの流行はみられておらず、11月に報告された19例は衝撃的な出来事でした。11月の症例のうち、17人はドッグショーの観客であったことが、残る2人は、2014年2月以来の大規模な流行が続いているボスニア・ヘルツェゴビナから持ち込まれたことが既に判明しています。速報リスク評価は、この流行が広範囲に広がる危険性は低く、この国で国内株による麻しんの流行が再度蔓延する危険性も非常に低いと判断しています。

麻しん（はしか）は、麻しんウイルスが、空気感染、飛沫感染、接触感染によって人から人にうつるウイルス感染症です。その感染力はウイルスの中で最も強く、麻しんを発症している人と同じ部屋にいただけで（空気）感染することがあります。また、免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症します。成人の方が重症化する傾向があり、肺炎や脳炎などの重い合併症を起こします。

麻しんは予防接種で予防することができます。予防効果を確実にするためには、2回の接種が必要です。現在、1歳と小学校入学前1年間の子どもに対して、計2回の定期予防接種が行われています。麻しんの流行がみられる地域へ海外渡航される前には、母子健康手帳などで、予防接種歴を確認してください。麻しんに罹ったことがない方で、麻しんの予防接種を受けたことがない又は1回しか受けていない方、または予防接種を受けたかどうか分からない方は、流行地へ渡航する前に、早めに医師に相談してください。